

民間社会福祉施設職員退職手当共済事業 運営委員会報告

次のとおり運営委員会を開催しました

1. 令和4年度第3回運営委員会

日 時：令和4年12月22日（木） 14：00～15：45

場 所：ふくし交流プラザ

出 席：運営委員15名中12名出席

下記の事項に関する審議が行われました。

審議事項

- (1) 高知県民間社会福祉施設職員退職手当共済制度の改正について

審議事項

- (1) 高知県民間社会福祉施設職員退職手当共済制度の改正について

①約款案について

令和5年度以降新規加入者への年金支給規定を廃止する「高知県民間社会福祉施設職員退職給付金共済契約約款 改正案」を事務局から提案し、案のとおり承認されました。

②年金資産の運用に関する基本方針案について

令和5年度以降新規加入者への年金支給規定の廃止に伴う「年金資産の運用に関する基本方針改正案」を事務局から提案し、案のとおり承認されました。

③年金資産の運用ガイドライン案について

令和5年度以降新規加入者への年金支給規定の廃止に伴う「年金資産の運用ガイドライン改正案」を事務局から提案し、案のとおり承認されました。

④契約者への同意依頼案について

上記②の改正に伴う契約者への同意依頼「年金資産の運用に関する基本方針の変更に係る同意について（依頼）」について事務局から提案し、案のとおり承認されました。

2. 令和4年度第4回運営委員会

日 時：令和5年3月1日（水） 13：30～15：00

場 所：ふくし交流プラザ

出 席：運営委員15名中12名出席

下記の事項に関する審議が行われました。

審議事項

- (1) 資産運用小委員会の協議結果について
(2) 令和5年度ガイドラインについて
(3) 令和5年度事業計画及び予算案について

報告事項

- (1) 年金資産運用基本方針改正について

審議事項

(1) 資産運用小委員会の協議結果について

第3回運営委員会において、資産構成割合の見直しの変更提案があり、資産運用小委員会で協議した結果、現時点の要支給率は150%を超えていることから、令和5年4月からは現状のままとし、令和6年1月以降の変更の有無について資産運用小委員会を中心に継続して検討することとなりました。

以上を運営委員会で報告し、承認されました。

(2) 令和5年度ガイドラインについて

現行のガイドラインを維持することとしました。

資産	現行ガイドライン		
	下限	中心値	上限
国内債券	51.0%	61.0%	71.0%
国内株式	1.0%	11.0%	21.0%
外国債券	5.0%	15.0%	25.0%
外国株式	1.0%	11.0%	21.0%
短期資産	0.0%	2.0%	12.0%
合 計		100.0%	

(3) 令和5年度事業計画及び予算案について

事業計画及び予算案を審議し了承されました。（予算額は次のとおり）

●民間退職手当共済事業	予算額	852,108千円（前年度 858,188千円）
●65歳以上被共済職員退職手当共済事業	予算額	122,103千円（前年度 109,655千円）
●民間退職手当共済事務費事業	予算額	30,741千円（前年度 28,218千円）
	計	1,004,952千円（前年度 996,061千円）

報告事項

(1) 年金資産運用基本方針改正について

第3回運営委員会で承認された「年金資産の運用に関する基本方針」について、約款第47条の規定に基づき、令和5年1月5日付け高社協発第1375号「年金資産の運用に関する基本方針の変更に係る同意について（依頼）」にて全共済契約者あてに意向確認を行いました。

その結果は下記のとおり、契約者の3／4以上の同意があり、理事会での議決要件が整ったことが報告されました。

記

契約者	133法人	
回答者	125法人（約94%）	※令和5年2月21日現在
・内訳		
同意する	125法人（100%）	※同意に必要な法人数 100法人（約75%）
同意しない	0法人（0%）	

【お知らせ】

高知県民間社会福祉施設職員退職手当共済約款改正・年金資産運用基本方針改正について（理事会決議）

令和5年3月13日に開催された第293回高知県社会福祉協議会理事会において、「第2号議案 高知県民間社会福祉施設職員退職給付金共済契約約款等の一部改正について」として以下の内容が提案され、案のとおり決議されました。

・約款の一部改正

年金支給について、令和5年度以降の新規加入者から年金支給を廃止する。ただし、経過措置として令和4年度以前の加入者については、これまでどおり年金受給を選択できるものとする。

・運用基本方針の一部改正

「年金資産」を「退職積立資産」に変更し、令和5年11月1日以降の65歳到達者の退職積立金については定期預金口座で管理しないこととする。

令和4年度上期信託運用状況報告書（令和4年4月～令和4年9月）

1. 市場概況

(1) 4月～6月期

【株式】 内外株式は下落しました。海外株についてはFRBによる金融引締めが加速したことで金利が大幅に上昇したことや、資源価格の上昇、先行きの景気減速懸念が強まったことを嫌気しました。国内株については海外株の影響に加え、中国の都市封鎖による景気減速懸念が重石となりました。

【金利】 内外金利は上昇しました。欧米共に物価上昇が続く中、FRBは6月に0.75%の利上げを27年ぶりに実施し金融引締めを加速、ECBも7月に利上げ着手を表明したことで欧米金利は上昇しました。国内金利は海外金利の影響を受けて上昇も、金融緩和が維持されるなかで小幅に留まりました。

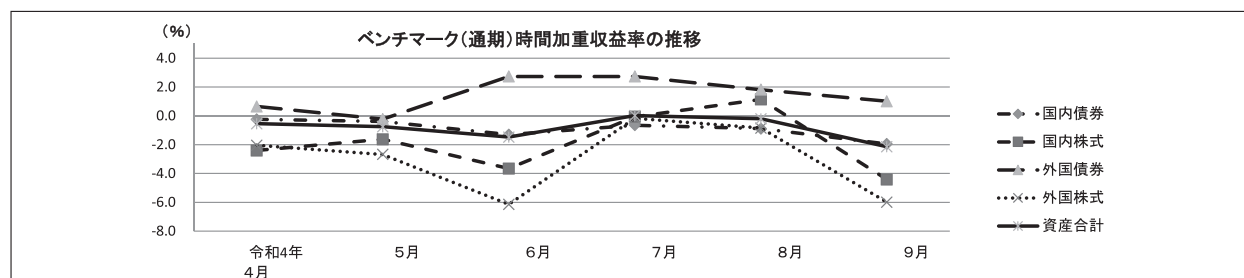
【為替】 ドル円はFRBの利上げ加速を背景とした日米金利差拡大やエネルギー価格急騰を受けた日本の経常赤字化が意識され上昇しました。ユーロ円は期後半にかけ、ECBが利上げ着手を表明したことで日欧金融政策の違いが意識され円安が進みました。

(2) 7月～9月期

【株式】 内外株式は下落しました。海外株についてはインフレ率が高水準で推移する中、欧米中銀が大幅な利上げを実施したことや今後の景気減速懸念が高まったことが嫌気されました。国内株については海外株の影響を受け下落も、経済再開への期待が下支えとなり、下落幅は小幅に留まりました。

【金利】 内外金利は上昇しました。FRBが金融引き締めの長期化を示唆したことや英国の国債増発計画発表による財政悪化懸念から欧米金利は上昇しました。国内金利は海外金利の影響を受けて上昇したものの、金融緩和が期待されるなかで小幅の上昇に留まりました。

【為替】 ドル円はFRBが金融引き締めの長期化を示唆したことで米金利上昇に連動して円安が進行しました。ユーロ円はエネルギー不足懸念から欧州の景気悪化観測が高まったことで一時下落したものの、ECBの大幅利上げを受け日欧金融政策の違いが意識されたことで下げ幅を縮小しました。



各月の数値は4月1日からの実績を表す。(通期)

ベンチマーク……国内株式におけるTOPIXのような基準となる運用成果の指標(市場平均値)。

時間加重収益率……コントロールできない現金の出入りの影響を取り除くことで、評価損益込みの運用成果をより正しく表わす利回り。

2. ベンチマーク及び運用機関別時間加重収益率の推移(資産合計・通期)

(単位: %)

月	令和4年4月	5月	6月	7月	8月	9月
信託銀行						
ベンチマーク	-0.54	-0.75	-1.47	0.02	-0.20	-2.14
三菱UFJ	-0.40	-0.65	-1.38	0.12	0.03	-1.85
超過収益率	0.14	0.10	0.09	0.10	0.23	0.29
三井住友	-0.54	-0.75	-1.50	-0.09	-0.20	-2.09
超過収益率	0.00	0.00	-0.03	-0.11	0.00	0.05

3. 資産別時間加重収益率(令和4年4月～令和4年9月)

	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行	ベンチマーク
国内債券	-1.55%	-1.95%	-1.95%
国内株式	-4.14%	-3.95%	-4.41%
外国債券	2.07%	0.77%	1.01%
外国株式	-5.68%	-5.98%	-5.99%
その他	-0.01%	0.00%	
資産合計	-1.85%	-2.09%	-2.14%

4. 運用機関別運用額

(単位：円)

	令和4年9月30日現在			令和3年度末 (令和4年3月31日現在)	期中増加額
		三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行		
信託元本	6,055,947,708	4,411,141,911	1,644,805,797	5,922,805,073	133,142,635
簿価	6,105,588,136	4,443,311,760	1,662,276,376	6,054,495,078	51,093,058
時価	6,754,027,248	4,948,631,377	1,805,395,871	6,898,521,222	-144,493,974
評価損益	648,439,112	505,319,617	143,119,495	844,026,144	-195,587,032

信託元本……… 本会からの委託資産額【拠出金総額－（退職給付金総額＋総幹事報酬）＋実現益から運用報酬を控除した額*）
（実現損益が運用報酬を下回る場合はマイナス）】

*）令和3年度分は令和4年4月1日に元本化されました。

簿価……… 購入時の価格

時価……… 調査時点の市場価格

評価損益……… 時価と簿価の差額であり、プラスであれば購入時より値上がりしていることを表します。

5. 資産別運用状況（時価）

(令和4年9月30日現在)

資産	運用ガイドライン		三菱UFJ信託銀行		三井住友信託銀行		合 計	
	基本構成比 (%)	基本構成比に対する 変更許容幅 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
国内債券	61.0	±10	3,043,792,067	61.5%	1,116,445,584	61.8%	4,160,237,651	61.6%
国内株式	11.0	±10	576,375,083	11.7%	193,381,796	10.7%	769,756,879	11.4%
外国債券	15.0	±10	683,484,957	13.8%	270,585,999	15.0%	954,070,956	14.1%
外国株式	11.0	±10	563,676,752	11.4%	173,236,593	9.6%	736,913,345	10.9%
その他	2.0	±10	81,302,518	1.6%	51,745,899	2.9%	133,048,417	2.0%
資産合計	100.0		4,948,631,377	100%	1,805,395,871	100%	6,754,027,248	100%
信託元本			4,411,141,911		1,644,805,797		6,055,947,708	

6. 信託報酬

(単位：円)

総幹事報酬	2,091,233
運用報酬	12,883,281
合 計	14,974,514

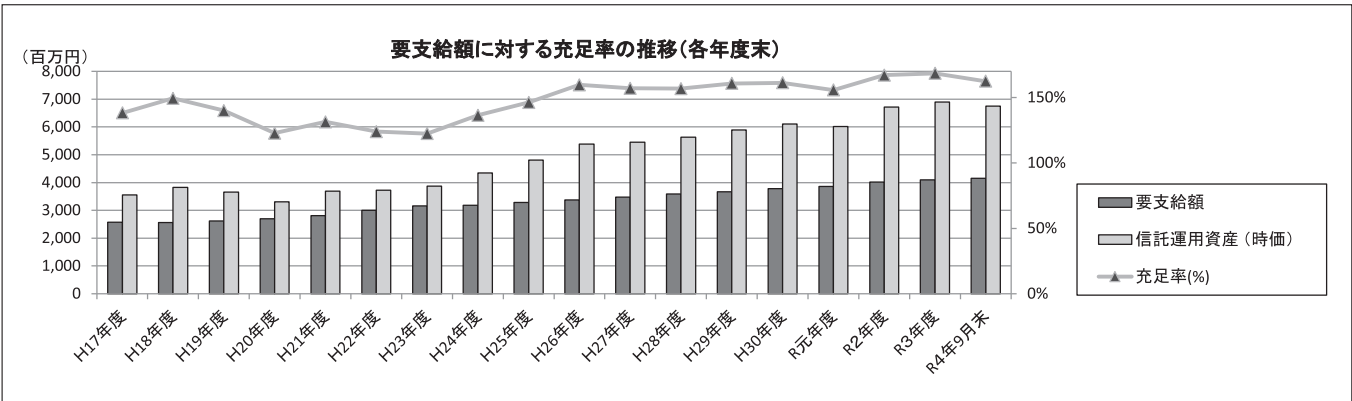
三菱UFJ信託銀行・三井住友信託銀行の合計額

7. 要支給額に対する充足率

(単位：円)

	令和4年9月30日現在	〈参考〉 令和4年3月31日現在
要支給額 (A)	4,157,445,241	4,095,462,407
信託運用資産(時価) (B)	6,754,027,248	6,898,521,222
差額 (B)－(A)	2,596,582,007	2,803,058,815
充足率 (B)÷(A)	162.46%	168.44%

* 要支給額…調査時点での加入者（65歳以上の者を除く。）全員の計算上必要とされる退職給付金の総額。



* 共済制度を運営していくためには、長期的な視野にたつて予定利率（現行 1.5%）に見合う運用実績を確保していく必要があります。信託運用は、様々な価格変動資産（株式、債券等）で運用しますので経済情勢に左右される側面があり、短期的には収益率が上下に振れる場合がありますが、長期的視点から見ていくことが大切だと考えています。

令和 5 年 1 月末信託運用状況について (令和 4 年 4 月～令和 5 年 1 月)

1. 市場概況

○10月～令和 5 年 1 月期

【株式】内外株式は上昇。外国株式については米 FRB の利上げペース鈍化期待、中国の脱・ゼロコロナ政策を好感し上昇。国内株式についても、日銀の金融政策再修正の見送り、次回 FOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げ幅縮小観測などから外国株に連動して上昇。

【金利】内外金利はまちまち。欧米金利は、米利上げペース鈍化期待を受けて低下。一方、国内金利は12月の日銀の YCC 政策の修正により上昇。その後、1月の金融政策決定会合で大規模な金融緩和政策に伴う副作用を点検するとの報道等を受け、日銀の金融緩和政策の更なる修正観測が高まり、10年国債は一時0.55% 程度まで上昇。

【為替】ドル円は米 FRB の利上げペース鈍化期待からドルが売られる展開に。一時1ドル130円割れまで円高方向へ水準調整。

2. 運用機関別運用額

(単位：円)

	令和 5 年 1 月 31 日現在			令和 3 年度末 (令和 4 年 3 月 31 日現在)	期中増加額
	合 計	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行		
信託元本	6,152,341,690	4,478,617,698	1,673,723,992	5,922,805,073	229,536,617
簿 価	6,227,787,337	4,525,878,938	1,701,908,399	6,054,495,078	173,292,259
時 価	6,803,977,937	4,979,193,274	1,824,784,663	6,898,521,222	-94,543,285
評価損益	576,190,600	453,314,336	122,876,264	844,026,144	-267,835,544

3. 資産別時間加重収益率（通期） 令和 4 年 4 月～令和 5 年 1 月

(単位：%)

資 産	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行	ベンチマーク
国 内 債 券	-3.64	-4.02	-4.05
国 内 株 式	0.78	3.23	3.07
外 国 債 券	-2.13	-3.08	-2.90
外 国 株 式	-1.30	-0.21	-0.74
そ の 他	-0.01	0.00	
資 産 合 計	-2.57	-2.59	-2.49

退職金計算シミュレーションの利用方法について



県社協ホームページにて『退職金計算シミュレーション』をすることができます。以下のとおり必要事項の選択または入力をしていただだけで計算できますので、ご活用ください。

なお、退職給付金は、加入期間や本俸月額により変動するため、シミュレーションによる合計支給金額は実際の支給額と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※高知県社会福祉協議会トップページ (<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/>) の

福祉の職場で働きたい の **民間退職手当共済事業** をクリック→ **退職金計算** をクリックすると該当ページです。

【利用方法】

手順1：加入期間（年・月）を選択

※平成15年10月31日以前に加入されている方は、平成15年11月1日からの期間。

手順2：変更時持分を入力

※平成15年10月31日以前に加入された方のみ入力。

手順3：本俸月額を入力

※退職する月を含めて12ヶ月の本俸月額の平均額を入力

（例：令和5年3月退職の方…令和4年4月から令和5年3月の本俸月額の平均）

手順4：『計算』ボタンをクリック

完了：合計支給金額が表示されます

<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/kyosai-keisan>

お問い合わせ先

社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 総務企画課

TEL：088-844-4865 FAX：088-844-3852